

◎卓球参加者 芳賀 誠 (ヘッドコーチ)

期待と不安と戸惑いの中での熊本行きとなりました。予選リーグは3勝1敗の好成績で通過、決勝では強豪チームの枠に入り健闘するが及びませんでした。山形での冬季大会まで15ヶ月成功に向けての取り組みが始まっております。官民あげ、成功へ向けて頑張らなければなりません。閉会式での細川名誉会長のご挨拶『2015年まで障害者という言葉が日本からなくしましょう』その為には一人でも多くの方々に理解してもらう為に、メッセンジャーにならなければなりません。最後に多くの皆さんにお世話になり有難うございました。



アスリート 茂木大輔

◆ 第7回水泳競技・競技会開催

10/29(日) 山形市立第一小学校室内プールにおいて
グッピーチーム 12:00~13:30 8名参加
ホセイトンチーム 13:30~15:30 15名参加



記録会の一コマ↑

○ホセイトン・佐藤大亮 ファミリー感想

息子は張り切りモードで、「頑張るからちゃんと見ていて」と言いました。一番年下で、まだまだ泳げないのですがタイムを取ったり、応援されたりで必死で泳ぐことができました。先輩方の泳ぐのを見たり他のアスリートに声援を送ったりする競技会はとても意味深いと感じます。

◆ 山形地区・鶴岡地区グッピーチーム交流会開催

11/25(土)、山形より福祉バスを利用し鶴岡地区でのトレーニングに20名が参加しました。一緒に昼食をとり、大きなプールでダイナミックな活動を満喫しました。鶴岡グッピーの皆さん、お世話になりました。今度は山形で会いましょう。



◆ 冬季 スキー・スケートのトレーニング開催予定

12月中旬～ 毎週土曜日の午前二時間程度予定
場所は蔵王スキー場・ウェルシア山形スケート場、対象は小学生以上です。また、協力をお願い出来るボランティア・指導者(コーチ)も募集致します。詳しくは募集案内がありますので、事務局までお知らせ下さい。

◆ 今後の予定

12/6 第2回評議員会・12/10 鶴岡水泳教室コーチクリニック・12/13 冬季全国・山形大会実行委員会準備会
2007年1/13~14 SON 全国スキーコーチクリニック(蔵王)

◆ 寄付金を送っていただいた団体

21世紀研究会・日本労働組合総連合・第一貨物労働組合

◆ 新規賛助会員(7月~11月末日) 五十音順・敬称略 / ご協力感謝いたします

団体 (株)板垣鉄工所・佐野設備(株)・荘内三菱電機商品販売(株)・雪国スポーツ振興協会
個人 秋葉七郎 朝倉次男 朝倉典子 飯白誠一 石岡眞悦 板垣富子 井上照雄 押切イツ子 小野孝子
グループホームたんぼぼ 黒羽根睦美 佐藤京子 佐藤千里 佐藤弘 佐藤満智子 佐藤よし子 佐藤良典
佐野公彦 猿橋恵美子 猿橋則男 白田洋一 高橋昌之 富塚陽一 細野武司 丸山千枝子 渡部知子

2006年第4回スペシャルオリンピックス日本
夏季ナショナルゲーム・熊本 閉会

～特集号～

2006年11月3日(金)~5日(日)の日程で、夏季ナショナルゲーム・熊本が開催されました。初参加となった今回、実際に参加されたアスリート・コーチ・役員の皆さんの声を特集しました。2008年3月第4回冬季ナショナルゲーム開催地に決定した本県にとって今後の活動指針となる大会だったのでないでしょうか。



〔県花紅花を掲げ堂々と入場行進する県選手団〕→

参加者感想 ※紙面の都合上、一部を抜粋し掲載させて頂きました

会長 荒井 進

『飛びたとう、はばたこう、勇気の翼で!』のテーマのもと開催された本大会には、アスリート5名・コーチスタッフ6名・役員2名・ファミリー2名が初めて参加致しました。12種目の内、本県からは水泳・ボウリング・フライングディスク・卓球の4種目に出場し、金3個・銅1個のメダル獲得という快挙をなしとげ、感動と思い出に残る大会となりました。閉会式では、熊本県より次回の冬季ナショナルゲーム開催地である本県へ大会旗の伝達がありました。



私はアスリートと共に壇上に上がり、歓迎の言葉『山形に来てけらっしゃい。山形で会いましょう!』とあいさつをして参り、盛大な拍手に包まれました。2008年3月までという短い準備期間ではありますが、必ず成功に導きたいと決意を新たにしました。関係各位の温かいご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

〔次回開催地のため熊本からSON旗を受取り、声援に答える県選手団〕

事務局長 眞木 滋夫(スタッフ)

11/3、山形空港より10名・庄内空港より5名に別れ出発しました。山形組は、空港にて荒井会長の激励を受け、決意を新たに旅立ちとなりました。開会式では県花・紅花を手に行進、山形をアピールすることが出来ました。翌日、5名のアスリートは各々の出場競技において予選・決勝ともに緊張しながらも精一杯の戦いを進め健闘しました。各アスリート共清々しい気分で、次回大会を目指しトレーニングに励んでいこうと話ながらの帰路となりました。私の感想としましては、地区組織結成4ヶ月の中、団として出場し、多くの方々に感動を与えることの出た、実り多い大会であったと思います。是非、今後の活躍につなげていきたいと考えます。

◎ ボウリング参加者



小南 潤(アスリート)

友達が出来ました。とっても楽しかったです。また、ボウリング頑張ります。

小南 桂子(ファミリー)

昨年より発足した活動が、この様な大きな大会につながり参加出来た事は、本人にとってもとても大きな思い出になった事と思います。早朝よりのバス移動、長い待ち時間等々、とてもベストコンディションとは言えない状態の中で、特に取り乱すことなく落ち着いて(普段通りのスコアとまではいなくても)本人なりの参加が出来たのではなかったかと思えます。また、言葉

ではうまく伝えられなくてもアスリート達は通じるものがあるようです。握手を交わした石川県の方や同じボックスの方とは言葉を交わしていました。その姿を見て、私達大人も学ぶ事がいっぱいある事を改めて感じました。皆さんには大変お世話になりました。有難うございました。

猿橋 則男(ヘッドコーチ)

予選・決勝の両日とも午前五時起床、そして会場まで長時間(バスで80分)の移動、おまけに左足首の負傷等最悪の状況。そのコンディションの中、点数は伸びないが、最後の一投まで素晴らしいパフォーマンスを発揮し、なんとかつかみ取ったメダル。色は少し違ったが、私には金色に輝いて見えました。表彰式でのこぼれんばかりの笑顔、閉会式での輝く瞳、おめでとう潤君。そして、全てのアスリート達、勇気と素晴らしい感動を有難う。最後にアスリートがどんな状況でも、通常の力を出せるよう十分なサポートが出来なかったことを反省し、今後の活動に活かしたいと思います。

◎ フライングディスク参加者

浜澤 信(アスリート)

熊本大会に参加でき、誠に嬉しく思います。感じた事は、参加アスリートの数が少ないこと、大会もあまり知られていないということです。私はフライングディスクに参加しましたが、自分の力の無さを感じた大会になりました。同じ山形の皆さんからの励ましがあつたからこそ、アスリートとしてこの大会の試合をすることができました。コーチや団長、ボランティアの方々に感謝したいです。まだあまり知られていない大会なので、自分達が周りの人達に広め、多くの障がい者が参加出来るようにしていきたいです。また、この大会が世界中の障がい者達の憩いの場としてあり続けるよう祈っています。



伊藤 和幸(ヘッドコーチ)

この度、熊本大会に参加する機会に恵まれました。浜澤さんのアスリートとしての技術を知っていた私は非常に心強く思っていました。大会当日、初参加の為か緊張が見られましたが、ウォーミングアップをするうち、本来の投げが戻ってきました。予選開始、最後に投球した浜澤さんは、他を寄せ付けずトップの成績でした。2日目決勝、雰囲気にも慣れリラックスの中、アキュラシー・ディスタンス共に、他を押え、金メダルを獲得しました。本人の頑張りを知っていた私も、一緒に金の喜びを分かちあえて、本当に良かったと思えます。また、参加出来ることを楽しみにしております。今後もアスリートが可能性を発揮できるようコーチングに努めていきたいと思えます。

◎ 水泳参加者

石原 健(アスリート)・50M自由形出場

11/4 昼過ぎ、50M自由形に出場しました。コーチに言われた通り、最後まで諦めずに泳ぎ、ターンもちゃんとやりました。ディビジョニングの記録は40秒で3位でした。交流会では食べて踊って、楽しい一日でした。11/5 自由形決勝に出場しました。精一杯力を出して泳ぎましたが、残念ながら7位になりました。負けましたが、周りの方にも励まされ、良い経験になりました。



高橋 亮雄(アスリート)・50M背泳ぎ出場



パークドームの中に入ると緊張しましたが、本番の選手宣誓は、他県のアスリートもいたので、そんなに緊張することなく出来ました。交流会では、北海道・長野・広島・長崎のアスリートと楽しく過ごし、食べ物では、からし蓮根などの郷土料理が美味しかったです。競技では全力で頑張りました。タイムは自己記録を6秒も更新し、52秒でした。閉会式ではリラックスし楽しく過ごせし、山形での開催をアピール出来て良かったです。

高橋 曜子(団長・コーチ)

団員全員が初めての経験で、不安一杯の出発です。でも競技が始まってからは、そんな不安もなくなり、感動の連続です。自己ベスト更新、金メダル、表彰台の笑顔ともう涙が止まりません。アスリートからは「曜子先生が泣いたのは初めて見た。」と言われてしまいました。大会に参加して、何か得たものがあったのか、まだ良く分かっていませんが、アスリートは全国に沢山のお友達ができ、メール交換や絵・バッジ等を交換していたようです。閉会式では、団旗授与式にアスリートとコーチも参加して、山形をアピールすることが出来、感激しました。拙い団長でしたが、皆さんに助けられて、全員無事に帰って来る事が出来ました。本当に有難うございました。

高橋 喜久代(コーチ・ファミリー)

夢を見ているような感動・感謝の3日間、有難うございました。

とても楽しかったので、身体は疲れていても心がとても温かいです。熊本に着いて、まず、ボランティアさんの多さに驚き、空港・開会式会場の熱烈な歓迎ぶりに、誰もがハイテンションになりました。全ての事がアスリート中心で、ボランティアさんやスタッフの方々が気を配って対応して下さる姿が印象的でした。そして、何よりアスリートの真剣な眼差し・素敵な笑顔が、大会を盛り上げていったことは言うまでもありません。私達はどれほどの感動を貰ったことか、心が洗われる思いがしました。最後に、担当について下さったボランティアさん、アスリートとのコミュニケーション・コーチへのサポート・共に涙して下さった森久さんへの感謝を忘れてはなりません。有難うございました。



水泳に参加した仲間たちの笑顔「イエ〜い」

